

一般質問に登壇しました

子どもの権利保障について

Q 葛飾区子どもの権利条例が制定されて2年になるが子どもの権利の認知度は上がってきているか。この1年の周知についての取り組み、実績と成果、課題、また今後の取り組みについて伺う。

A 子ども世論調査で子どもの認知度は28.2%。一方18歳以上の大人は6.2%（区民モニターアンケート）と子どもより大人の認知度が低いことが課題である。今年度は広報かつしかに子どもの権利の記事を掲載、小学1年生に子どもの権利条例の啓発リーフレットの配布などを行った。来年度は家庭教育応援制度で子どもの権利に関する講師派遣学習動画による普及啓発活動を進めていく。

Q 区のホームページ内に子どもページを開設し、匿名で子どもの声を聴くための「こえボス」、専門家が相談に応じる意見表明のフォームを作るなど新たな取り組みをすすめたが、今年の意見表明の状況はどうか。子どもたちに意見を聞きながら、子どもたちが相談をしやすい環境に改善する必要があると考えるがどうか。

A 「こえボス」には26件、児童相談所一時保護所からは2件、かつしか子どもページからはない。子どもページの見直しをすすめ、子どもたちが意見表明しやすい環境づくりに努める。

Q 教育委員会では子どもの権利についての理解を深めるためにどのように取り組んでいるか、実績と成果、課題、今後の取り組みについて見解を伺う。

A 希望する中学校で「生徒会応援プロジェクト」を実施し、生活のきまりや校則に子どもたちの意見を反映させることや子どもたちのアイデアや願いを取り入れた教育活動を行った結果、子ども自身が子どもの権利について意識できるようになった。課題は教職員の子どもの権利に関する意識向上にあるので教職員向けの研修をすすめる。

一般質問は、議員が区政全般に関して行政側に現状や見通しを聞くことです。区民の皆さんの声や政策の中から検討を重ね、子どもの教育環境について質問しました。

不登校について

Q 区内にある東京シューレ葛飾中学校やフリースクール、NPO法人等の支援団体などの民間との連携状況はどうか。不登校支援関連団体等と連携しながら不登校対策を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

A 東京シューレ葛飾中学校やフリースクールなどの不登校支援団体等との連携は教育委員会として現時点では考えていない。

Q 学校やふれあいスクール明石に行けないと保護者も子どもも行き場所がなく、途方に暮れ孤立している。他の自治体で行っているように東京シューレ葛飾中学校やフリースクール利用者支援事業に該当する施設等、民間の情報についても提供が必要と考えるが、見解を伺う。

A 保護者向け相談窓口、ハンドブックやふれあいスクール明石の登録者を対象にオンライン上の仮想空間を活用した居場所及び学びの場を提供している。教育委員会が一律で提供するのではなく、保護者自身が自ら選択することが重要と考え、現時点ではフリースクールなどの情報提供は考えていない。

葛飾区議会議員の議員報酬が上がります

今定例会に議員報酬の見直しについての議案が提出され、12月分から月額2万1,000円の増額（年間で25万2,000円増）となることが決まりました。

2023年2回、2024年1回、2025年2回と毎年のように引き上げられています。区内事業者の厳しい経営状況が報告されたり、報酬が上がらず介護事業所の倒産が相次ぐなかで、もともと平均よりも多い議員報酬を上げる必要はないと考え議案に反対しましたが、賛成多数で可決されました。その根拠になったのは公務員給与の引き上げです。特別区における厳しい採用環境を踏まえ、より規模の大きな企業と比較する必要があるとして、これまで50人以上だった事業所の規模が100人以上になりました。

官民格差があるから公務員給与を上げる、“それに伴い特別職（区長・教育長・議員等）の報酬も上げるのが妥当”との葛飾区特別職議員等審議会の答申通りに議員報酬を上げることにについて、どう考えますか？

Q 葛飾区では学校給食費が無償化されたが、学校に行くことができない不登校の児童・生徒はその恩恵を受けられない。学校に行くことができないという子どもたちの困難の軽減や、子どもの育ちや最善の利益のためにも、不登校の子どもたちへの給食費相当給付金等の検討が必要と考えるが、区の見解を伺う。

A 学校以外の昼食については補助の対象にしていない。不登校の児童・生徒も登校時に給食費を負担せずに給食をたべることができる。検討する考えはない。

2024年度、葛飾区の不登校児童・生徒数は1,200人を超えています。

不登校の子どもの多様な状況に対応する上で、文部科学省もフリースクールや地域の不登校支援関連団体との連携・協力の必要性を示すなか、子どもの最善の利益を考えているとは思えないこのような教育委員会の答弁は残念でなりません。引き続き子どもの権利を大切にする葛飾のまちづくり、不登校支援の充実について取り組んでいきます。

沼田たか子 区議会レポート vol.16

夫と息子の3人家族
葛飾区新宿在住

沼田たか子のプロフィール

1976年 新潟県吉田町（現：燕市）生まれ。新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業。日本医科大学付属病院、新潟大学附属病院に勤務。結婚後、訪問看護師として働く。2011年 聖徳大学人文学部心理学科卒業。生活クラブ生協加入。2013年 葛飾区新宿に転居。2017年より区内の訪問看護ステーションに勤務。
2021年 葛飾区議会議員選挙初当選
2024年6月 みらい葛飾（生活者ネット・無所属）副幹事長
2025年11月 葛飾区議会議員選挙当選（2期目）建設環境委員会、危機管理対策特別委員会に所属

- 資格：看護師、心理相談員、介護支援専門員実務受講試験合格
- 趣味：庭いじり、ヨガ



お手数ですが
85円分の切手
を貼付のうえ
投函ください

1250054

東京都葛飾区高砂8-21-1

沼田 たか子 行

よろしければご記入ください



お名前：

ご住所：

電話番号：

メールアドレス：